

<No13 : 地形測量>

次の文は、公共測量における RTK 法による地形測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 最初に既知点と観測点間において、点検のため観測を 2 セット行い、セット間較差が許容制限内にあることを確認する。
2. 地形及び地物の観測は、放射法により 2 セット行い、観測には 4 衛星以上使用しなければならない。
3. 既知点と観測点間の視通が確保されていなくても観測は可能である。
4. 観測は霧や弱い雨にほとんど影響されず、行うことができる。
5. 小電力無線機などを利用して観測データを送受信することにより、基線解析がリアルタイムで行える。

<No14 : 地形測量>

トータルステーションを用いた縮尺 1/1,000 の地形図作成において、傾斜が一定な斜面上の点 A と点 B の標高を測定したところ、それぞれ 72.8m、68.6m であった。また、点 A、B 間の水平距離は 78m であった。

このとき、点 A、B 間を結ぶ直線とこれを横断する標高 70m の等高線との交点は、地形図上で点 A から何 cm の地点か。最も近いものを次の中から選べ。

1. 1.3 cm
2. 2.6 cm
3. 3.9 cm
4. 5.2 cm
5. 6.5 cm

<No15 : 地形測量>

図 15 は、ある地域の交差点、道路中心線及び街区面のデータについて模式的に示したものである。この図において、P1~P7 は交差点、L1~L9 は道路中心線、S1~S3 は街区面を表し、既にデータ取得されている。街区面とは、道路中心線に囲まれた領域をいう。この図において、P1 と P7 間に道路中心線 L10 を新たに取得した。次の a~e の文は、この後必要な作業内容について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. 道路中心線 L6、L10、L8 により街区面を取得する。
- b. 道路中心線 L8、L9、L4、L5 により街区面を取得する。
- c. 道路中心線 L2、L3、L9、L7 により街区面を取得する。
- d. 道路中心線 L1、L7、L10 により街区面を取得する。
- e. 道路中心線 L1、L7、L8、L6 により街区面を取得する。

- 1. a, b, c
- 2. a, c, d
- 3. a, d, e
- 4. b, c, e
- 5. b, d, e

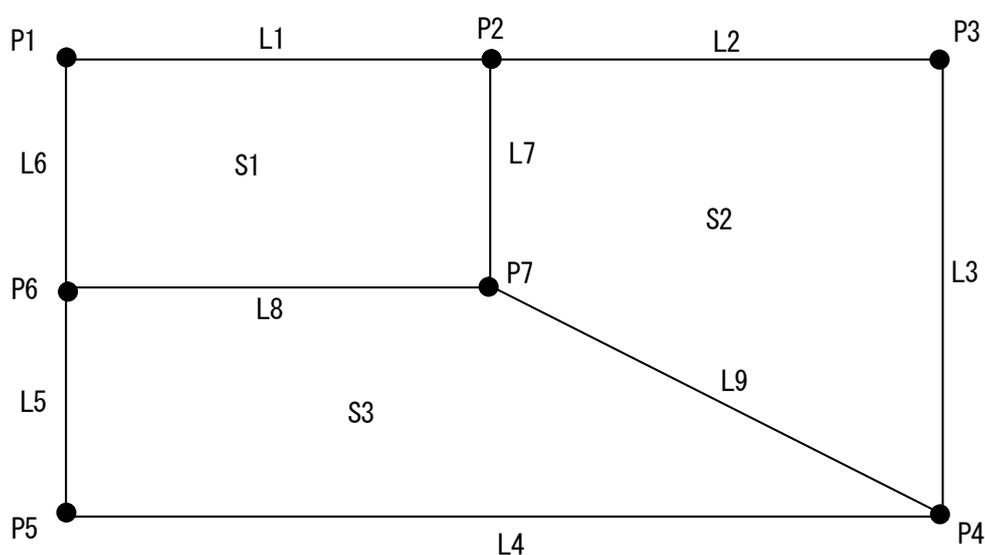


図 15